

真言

あの震災より、間もなく十一月が経過しようとしており、来月には一年を迎えることとなります。

檀信徒の皆様におかれましては、生涯初めであろう、自宅以外の場所（いわば避難先）で迎えた悔しいそして祝えないお正月を過ごしたことでしよう。本来であれば年の瀬にお正月を迎える準備をし、ほこりをはらい、そして元旦の朝には菩提寺「大楽院」の護摩炊きに出かけ、ご本尊さま、またご先祖さまに新たな一年の幸をお祈りするはずでした。

本年の元朝には、実相寺において護摩供養を行い、檀信徒の皆様の今年一年の福寿をご祈念しました。

さて、大楽院も、群馬県実相寺様をお借りし、法務を行ってまいりましたが、多くのお檀家さんがいわき市を中心に避難なされていることから、先に総代会を開き協議した結果、いわき市中央台飯野に「大楽院別院」を設け、法務を執り行うことといたしました。

法務等のご相談については、寺族までお願い致します。

実相寺様には、現在も納骨できないお骨を預かってもらっております。今後、法要等でお世話になることも多々ございます。

震災から現在までの多くの方々のたくさんのご支援に感謝し、前に進んでいきたいものです。

合掌



発行

宗教法人真言宗豊山派

医王山興福寺大楽院

住 名譽住職 酒 酒主 秀 明 寛 寛

～大楽院別院のご案内～

住所：いわき市中央台飯野2丁目6番地4
 いわき明星大学より車で約3分
 榎葉町役場いわき出張所より車で約3分
 駐車場完備（5台）

別院内は、和室8畳間2部屋を併せて使用可能。
 ご本尊様は「大日如来」
 法要、会議、打ち合わせ、各ご供養等にお使いいただけます。
 お気軽にご相談ください。



医王山興福寺大楽院

代表役員 酒主 秀寛
 責任役員 草野 孝
 同 芦口 一美
 総代 久保田 幸夫
 同 高野 孝明
 同 渡辺 勝康
 同 渡辺 芳男
 同 箱崎 豊
 同 小松 イク
 同 片山 一吉
 同 松永 光久
 同 会沢 節夫
 同 猪狩 正久
 同 草野 公雄
 同 新妻 久彌
 同 橋本 明
 同 草野 仁
 同 草野 武夫
 同 小松 岳生
 同 小野 治久
 同 鈴木 恒男
 同 高野 繁男
 同 渡部 千秋
 同 根本 正勝
 同 渡辺 甫
 同 新妻 孝
 同 吉田 紀夫
 同 猪狩 芳樹
 同 樋口 陽興
 同 菅原 泰郎
 同 新妻 則彦
 同 渡辺 幸生
 同 猪狩 雄男
 同 猪狩 義栄
 同 小松 信夫
 同 関谷 宗久
 同 猪狩 一信
 同 草野 和治
 同 猪狩 三男
 同 久保田 明
 同 渡辺 良平
 同 松本 公一

代表世話人

世話人

信徒総代

一時帰宅時の写真を集めてみました。



水子地藏尊に合掌。



墓地も倒壊してます。



境内地表10cmで
1.22 マイクロシーベルト/
時でした。



水子地藏尊も何体か倒れて
おりました。

回忌供養は毎年行つのが本義で
す。ここには代表的な年回を掲載し
ました。また、毎月の命日にお参り
する月参りを行えば一層ご供養が深
まることでしょう。

一周忌	平成二十三年
二回忌	平成二十二年
七回忌	平成十八年
十二回忌	平成十二年
十七回忌	平成八年
二十二回忌	平成二年
二十七回忌	昭和六十一年
三十三回忌	昭和五十五年
三十七回忌	昭和五十一年
四十二回忌	昭和四十五年
四十七回忌	昭和四十一年
五十回忌	昭和三十八年
百回忌	大正二年

平成二十四年度年回表



灯籠は半分から上、倒壊で
す。お大師さまはご無事でし
た。

真言宗豊山派医王山興福寺大楽院

法務等のご相談は、下記までお願いいたします。

住職、名誉住職ともに住所が変更しております。お間違えのないよう
お願い致します。

酒主 明寛

〒970-8044 福島県いわき市中央台飯野2丁目6番地4
(真言宗豊山派大楽院別院)
電話 090-1495-7957

酒主 秀寛

〒319-1715 茨城県北茨城市関南町神岡下359-8
シティーハイツ北浜田203
電話 090-3753-3634

ホームページ <http://dairakuin.net>

e-mail info@dairakuin.net

郵便振替 02220-2-92530 宗教法人大楽院

現在、大楽院がお借りして、お骨を預かっている寺院は下記
のとおりです。

真言宗豊山派 実相寺 住職 青木教寛

〒374-0132 群馬県邑楽郡板倉町板倉甲1678

電話 0276-82-0560

東北自動車道館林ICより東へ約5分

震災からまもなく一年が経とうとしております。町では、3月4
日に津波被害者の方々の一周忌法要が行われます。春の彼岸の墓参
りができず、お盆も迎えられず、秋の彼岸にも帰れず、気がついた
ら年を越してしまいました。原子力発電所は、冷温停止状態が保た
れているとのことから、国では早ければ四月に、警戒区域内の見直
しを行うこととしているようです。除染も、各地でモデル事業が実
施されておりますが、思うような成果がみられず、試行錯誤が続い
ているようです。我々の暮らしは一体いつになったら取り戻せるの
でしょうか？基幹産業である農業は再開できるのでしょうか？子
どもたちの声が響き渡る町になるのでしょうか？
毎日は慌しく過ぎていってしまいます。そんな中少しでも心の拠
り所となるよう、ご本尊「大日如来様」を安置した大楽院別院を設
けました。どうかお気軽に足をお運びください。
ご本尊に手を合わせ、経を唱え、ご先祖様を供養することが私達
にとつていちばんの幸せです。できることからやればいんです。
そうすれば少しでも明るい一歩が踏み出せるのではないでしょう
か。お寺は心の休憩所です。皆様のお越しをお待ちしております。

(秀寛)